

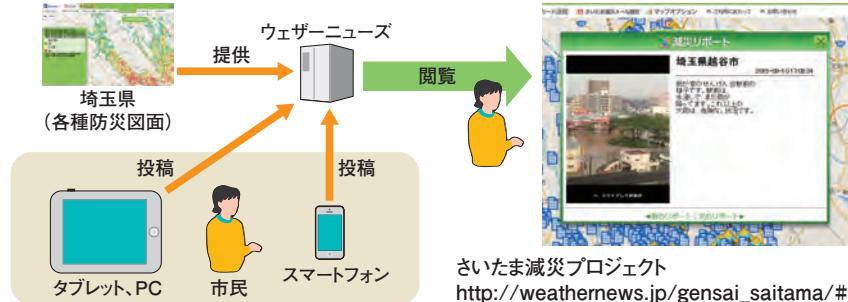
MCPC award 2015 クラウド委員会特別賞
埼玉県 都市整備部都市計画課

災害情報を住民自らが投稿・閲覧する！

大規模災害が起きたときに被害をできるだけ減らすには、日ごろからの備えと、正確でリアルタイムの情報を取得することが重要である。

身の回りで起きている災害状況を地域の人々が自ら発信できれば、自助・共助の促進になる——このような発想で情報収集のできるWebサイトを構築したのが、埼玉県の「さいたま減災プロジェクト」である。

図 さいたま減災プロジェクトの概要



>>> DATA

業種	自治体
活用分野	防災・減災
テクノロジ	Shape形式、オープンデータ

稿できる発信の仕組みが特徴的。写真の活用によって、浸水などの状況も正しく伝えられる。「身の回りで何が起きているか」をリアルタイムに把握すれば、適切な行動につなげることができる。

防災・減災においては、日常の情報収集や意識向上が欠かせない。「さいたま減災プロジェクト」では、このサイトを、平常時は地域のまちづくりやイベントなどの情報発信ツールとして利用を呼びかけている。普段からサイトにアクセスして情報を見る習慣づけができるれば、万が一に備えられるからだ。

技術面では、画面の制作にあたり、各種防災図面をshapeデータ化し、ワンストップで提供。防災図面同士や図面と投稿情報を重ね合わせることで、より安全な避難を促すことができる。